

# 「ぷらっと」から生まれるつながり ～あなたが何かに一步踏み出せる場所～

問合せ先

まちづくり協働課市民協働グループ  
社会福祉法人亀山市社会福祉協議会

☎ 84-5008

亀山市市民協働センター「みらい」は、平成19年4月の開館以来、市民活動を支援し、協働を推進する拠点として、さまざまな分野で活動している約2万人の皆さんが1年を通して利用しています。

一方、市民活動やボランティア活動では、団体構成員の高齢化や高齢就業者の増加などによる担い手不足が課題となっていて、今後も市民活動団体の皆さんが継続して活動できる支援が求められています。

そのような中、市では、令和7年4月1日から、市民活動支援や相談業務などの支援機能と、亀山市社会福祉協議会のボランティアセンターの機能を集約した市民活動・ボランティアセンター「ぷらっと」を「みらい」に設置し、市民活動団体・ボランティア団体・企業・特定非営利活動法人(NPO法人)などをつなぐ活動を展開しています。

今回は、市民の皆さんが“何かに一步踏み出せる場所”市民活動・ボランティアセンター「ぷらっと」をご紹介します。



## ぷらっとカフェ15

いこう



市民活動団体やボランティア団体、これから活動をはじめたい人が、活動の現状や課題について情報共有や意見交換を行うことで、活動の活性化や新たなつながりを生み出すとともに、市民活動やボランティア活動をはじめのきっかけをつくるために開催しています。



\*次回開催予定\*

☑ 2月15日(日)  
午前10:00～

☑ 3月15日(日)  
午後1:30～

毎月15日に開催





# “ぷらっと” 立ち寄ってみてください



市民文化部まちづくり協働課  
課長 松岡 保範

## 相談件数は約7倍に増えました

市民活動・ボランティアセンター「ぷらっと」開設後、活動の相談や助言をはじめ、団体同士のマッチングや毎月発行している「ぷらっとニュース」での情報発信、さらには、協働事業の協議やボランティア養成講座の合同開催など、亀山市社会福祉協議会との連携による中間支援に取り組んでいます。

その結果、毎月の相談件数は、平均3件から約7倍の平均20件に増加するなど、相談窓口を一元化した効果が出ています。全国的に見ると、市と社会福祉協議会が同じ事務所で机を並べて業務を行っていることは珍しく、こういった取り組みができる文化的な素地があった亀山市だからこそ実現できたと考えています。

## 中間支援機能を強化することで、新たな交流の創出へつなげたい

これから何かをはじめたい人の活動のきっかけづくりや団体同士がつながる機会として、10月から毎月15日に「ぷらっとカフェ15」を開催しています。活動する上での困りごとや情報発信を、コーヒーなどを飲みながらワークショップ形式で話し合うなど、活発な意見交換につながっています。

今後は、団体と企業や自治会・地域まちづくり協議会などの情報交流会を計画し、新たな取り組みの創発を促進することや地域の困りごとの解決に貢献できればと考えています。また、クラウドファンディングなど活動に役立つテーマについて講座を開催したり、県と共催で労働者協同組合法人設立相談に応じたりするなど、さまざまな側面から活動をサポートしていきます。より一層、中間支援機能を強化することで、新たな交流の創出を図っていきたいです。

## 「ぷらっと」で“できること”を紹介します！

### 相談対応・マッチング

活動に関する相談に応じ、活動したい人と活動を依頼したい個人・団体・企業をマッチングします。

#### 【相談例】



活動団体代表者

ぷらっと職員

### ぷらっと情報コーナー

市民活動団体やボランティア団体の活動紹介やイベント告知、参加者募集など、チラシやポスターを掲載することで、「みらい」を利用される皆さんに周知することができます。また、助成金情報なども紹介しています。



## ボランティア活動保険の窓口業務も行っています 安心して活動するために。

ボランティア活動保険は、国内におけるボランティア活動中の事故などにより、自身がけがをした場合や、第三者の身体や財物に損害を与え、賠償責任を負った場合などに損害を補償する保険です。年間保険料は350円（基本プラン）で、加入しやすい金額となっています。

これから活動をはじめめる人はもちろん、活動中で未加入の人も、万一の事故に備えて加入することをお勧めします。加入手続きなど詳しくは、市民活動・ボランティアセンター「ぷらっと」（☎84-5008）へお問い合わせください。

ボランティア活動保険について詳しくは、こちらをご覧ください。

「ふくしの保険」ホームページ▶



社会福祉協議会  
ボランティアコーディネーター  
川原田 純也

市民活動団体

ippo

特定非営利活動法人

友愛

市民活動・ボランティアセンター

「ぶらっと」

discussion meeting at plat

市民活動団体 ippo

代表 福島 潤一さん

Profile

美容師。地元石川県の被災を受けて、令和7年7月19日に被災地などで理美容やマッサージを行う市民活動団体を設立。

特定非営利活動法人友愛

代表 池尻 未来さん

Profile

令和7年10月29日、外国にルーツのある子どもの居場所づくりを主に外国人と日本人の交流をサポートする特定非営利活動法人を設立。

市民活動・ボランティアセンター「ぶらっと」

宮村 聡史

## — 団体設立のきっかけを教えてください —

**福島さん** 地元石川県で能登半島地震が起きた際、ヘアカットなど理美容のボランティア活動に参加し、理美容の技術で被災者の心に寄り添い、支える経験をしました。亀山市でもこの技術を生かした活動をしたいと思い、団体を立ち上げようと考えました。しかし、何からはじめればいいのか分からず「どうしたらいいのだろう…」と思っていたとき、(自身が経営する)美容室のお客様に「ぶらっと」を紹介してもらい相談に伺ったところ、団体の立ち上げや活動資金のアドバイスをいただくことができました。また、被災地の活動では、いつ土砂崩れなどに巻き込まれるかわからない不安がありましたが、ボランティア保険の加入を提案いただき、安心して活動ができています。



**宮村** 「ぶらっと」を利用されている方が福島さんに「ぶらっと」を紹介いただいたことで、人や活動がつながり、広がっていくことをうれしく感じました。

**池尻さん** 多国籍の子どもたちが通う保育所で働く中で、外国人の子どもだけでなく保護者へもサポートが必要だと感じ、外国人と日本人をつなぎ、亀山市の活性化を目的とした特定非営利活動法人を設立しようと考えました。「ぶらっと」では、法人を新規設立するため

の事業計画書の作成や困りごとの相談など、親身になってサポートしてくれたので、とても助かりました。また、いろいろな人と交流し、つながりの場をつくることのできる「ぶらっとカフェ15」の存在もありがたいです。

**宮村** 法人立ち上げの際には、定款や事業計画書など公文書がたくさんありましたよね。「ぶらっと」の職員は普段から公文書を取り扱っているので、得意な分野を生かしたサポートができて良かったです。



## — 活動をする中で楽しみや、やりがいがありますか —

**福島さん** 被災地で髪を切ることやマッサージをすることが支援につながるのかと、最初は疑問に思いながら活動していました。昨年10月に被災地を訪れた際、伺うのが2回目の場所だったのですが、「あなたに切ってもらいたくて、ずっと髪を伸ばしていたんですよ」という方がいらっしゃいました。その時、自分の活動が人の心の支えや役に立っていると感じることができ、やってきて良かったなと思いました。

**宮村** 先日行われた補助金の公開プレゼンテーションの際も、福島さんの活動は審査員から非常に期待されて



被災地で理美容のボランティア活動をする福島さん



いました。今後も活動の幅が広がるよう、情報発信のサポートや関係者とのマッチングなどお手伝いさせていただければと思います。

**池尻さん** 外国の子どもに日本語の読み書きを教えるほか、外国の子どもと保護者に日本の文化やマナーを伝える活動をしています。日本と外国の文化が異なることによるすれ違いが多いため、双方に文化の違いなどを伝えることで未然に防ぐことができればと考えています。「初めて知った。教えてくれてありがとう」と言ってもらえた時が、活動していて良かったと感じる瞬間であり、やりがいにもつながっています。

**宮村** 亀山市にも多くの外国の人が生活していますよね。お互いの文化を尊重しつつ理解を深めることで、暮らしやすいまちになると思います。

#### — 今後の活動についての展望を教えてください —

**福島さん** 市内の老人ホームなどの施設や、理容室や美容室に行くことができない人を訪問して、ヘアカットやマッサージのサービスを提供していきたいと考えています。また、ボランティア活動を通して自分が見て



きた被災地の状況などをお話ししたり、SNSを使って情報発信したりすることで、市民の皆さんの防災意識の向上につなげていきたいと思っています。

**池尻さん** 幼少期に参加していた地域の祭りやイベントが年々減ってきているので、他団体の人と一緒に祭りやイベントを復活させて、亀山市を活気づけたいと考えています。その中で、外国の料理を振る舞うブースや外国の文化を体験できるブースを出店して、外国の文化を知ってもらおう活動をしていきたいです。文化というのは、実際に触れてみることで理解の輪が広がっていくものだと思うので、そういった機会を増やし、日本人も外国人も住みやすい多文化共生社会をつくっていききたいです。



外国籍の子どもたちに小学校で使うものを教える池尻さん

**宮村** どちらの団体も今後の活動がとても楽しみだと改めて感じました。「ぶらっと」が開設されたことで、市と社会福祉協議会の担当者がいつでも一緒に行動できるので、より幅広い提案ができるようになったと感じています。今後も、皆さんに寄り添った提案やサポートを心掛けていきます。



個人ボランティアの方に伺いました

## 小さな一歩が未来を変える

個人ボランティア 細江 愛さん

もともとボランティア活動に興味があり、子育てが落ち着き、自分の時間ができたので、できる範囲で活動に携わりたいと思っていたとき、「ぶらっとニュース」に載っていた“ボランティア活動はじめてみませんか”という記事を見て、窓口に行ってみようと思いました。

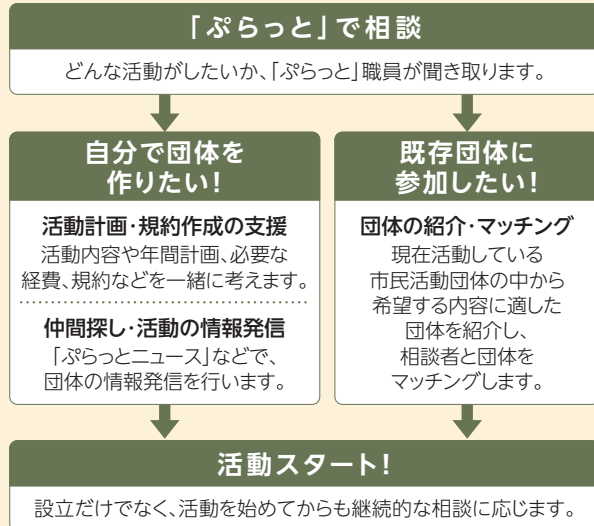
最初は不安でしたが、「ぶらっと」の職員さんが親切丁寧に相談に乗ってくれて、自分に合った活動先を紹介してくれたので一歩を踏み出してみようと思い、「みんなの食堂」とつながりいただきました。初回の活動の日も一緒に同行してくれて、とても心強かったです。

「みんなの食堂」では、毎月第2日曜日にあいあい、生活に困っている方に向けて食品の支援を行っていて、私は食品の仕分けと配付に携わっています。活動を通じて誰かの役に立てることはありがたい経験ですし、ボランティアの意義だと感じます。これから何か活動をはじめたいという人は、まずは「ぶらっと」へ相談してほしいと思います。



「ぶらっと」を通じて、令和7年7月から個人ボランティアとして活動している

◎相談から活動開始までの流れ



こんな相談もOKです!

- 何か新しいことをはじめてみたい
- 自分たちの活動を知ってほしい
- 暮らしの中で困りごとがある
- 助成金について知りたい
- …など

ぶら～っと気軽に  
来てください!



亀山市市民活動・ボランティアセンター「ぶらっと」  
(東町一丁目8-7 市民協働センター「みらい」内)

受付時間 平日 午前9:00～午後5:15

今回の特集記事について  
感想をお聞かせください!

